

令和元年度 第3回 大阪府立島本高等学校 学校運営協議会 議事録

○委員構成（敬称略）

柘植 誠子（短期大学准教授）、花田 純子（地元民生委員児童委員協議会委員）
畑 克延（地元中学校教頭）、堀 聖二（地元中学校首席）、永田 博和（本校同窓会会計）
武田 由美子（本校 PTA 会長）、伊藤 義孝（本校校長）、山下 一郎（本校教頭）
尚山 信夫（本校教頭）、岩下 幸司（本校事務長）、佐々木 哉司（本校首席）
札木 理（本校首席）

○日時：令和2年1月24日（金） 14：00～

○場所：校長室

○内容：14:00～ 協議
14:25～ 6限目 授業見学
15:30～ 協議

○出席者（敬称略）

柘植 誠子、花田 純子、畑 克延、堀 聖二、武田 由美子、伊藤 義孝、山下 一郎、
尚山 信夫、岩下 幸司、佐々木 哉司、（記録）古田 博之 （記録）山下 幸将

1. 校長挨拶

2. 議案

(1) 令和元年度進路の状況について

四年制大学については指定校推薦での合格がほとんどであり、現在は一般入試での合格を目指し、SSL（島本スタディラボ）で取組んでいる生徒もいる。各大学における定員の厳格化により指定校推薦でも規定が厳しくなっている。専門学校は順調で、就職については、本年も学校斡旋希望者について100%になるように継続指導中である。

(2) 令和元年度生徒指導状況について

【質問】不登校はどのような生徒なのか。

→中学校の頃から不登校傾向にある生徒が多くを占めている。

【質問】不登校の生徒に対する対応はどのように行っているか。

→家庭連絡、家庭訪問などを随時行いながら連携をとっている。

中学校における携帯電話指導の内容を共有した。

→学校への持ち込みは希望生徒のみ許可制を導入。緊急時の使用可としている。希望生徒は0名。

小学校ではGPS機能を活用して居場所確認のために使うのがほとんどのようである。（地元中学校）

(3) 令和元年度学校教育自己診断について

【質問】 学年進行による変化分析はしていないのか

→分析はできる状況にはあるが、今年度はしていない。今後、様子がわかるように実施していきたい。

【質問】 質問事項はどのように決めているのか。教育委員会のひな形などによるのか。

→教育委員会のひな形を活用しながら学校独自の内容も盛り込んで作成している。

【質問】 保護者への質問「子供の通学は便利である。」という質問の意図は何か。

→電車通学等が多いため、震災が発生した際の影響などを分析するために活用できる。

【質問】 教員の未回答がある。保護者については理解できるが、なぜか。

→意図的に教員アンケートは選択肢に〈5. 分からない〉を入れていない。担任の関わりが強く副担任の関わりが弱いものや、別分掌の取組みに関しては、深く理解していないケースがあり、答えられない設問があったと分析している。例えば、「19.奨学金制度」などは、関わりが深いのは3年の担任であり見えにくい部分である。また、「11.カウンセリング」なども3日勤務の再任用の先生には分かりにくい面がある。今後も、共通認識は深めていきたい。

→授業に関して、指導方法の工夫・改善をしている割合は、教員側は92%と高いが、生徒は50%程度と低く結果が乖離している。この乖離をなくしていきたい。

(4) 令和元年度学校評価（案）について

【質問】 授業の島本スタンダードは教員と生徒のどちらの視点で作成しているのか。

→基本、教員が実施すべき授業方法を基本に作成している。全教員が同じ観点で授業を実施できることを狙いとしている。

【質問】 防災の地域連携はどのように実施したのか

→9/5 の 880 万人訓練の際に、近隣自治会と連携して、生徒会が自治会役員と一緒に拡声器を使って避難指示を出し、その後特定場所に集合した人を避難所である本校の正門まで誘導する試みを行った。非常に好評であった。

審議のうえ承認

(5) 令和2年度学校経営計画（案）について

【学校】 月間目標を今までは決めて取組みをしてきたが、もっと長い視点で年間目標などに変更をした方がいいのか、協議員の方々からご意見を頂きたい。年間目標として「挨拶をする」や「遅刻をしない」など長期に渡って行うことも考えているが、どうか。

【協議員】 長期目標になると、長くてそれだけでだれてしまうケースがある。そのため、表彰をされても達成感があまり得られない。それよりも1週間などの短期目標を設定し、その後すぐに表彰するなどの取組みでフィードバックを早く行うと効果がある。例えば、毎学期に2回、そのような週を設けるのも一つの方法ではないか。

【学校】 生徒会と結び付けて行っていく方向で考えていきたい。

【協議員】 表彰は生徒の取組みをあげるモチベーションとしてはいい。

【学校】 遅刻をしない取組みの際には、生徒も表彰されてうれしそうである。学年によっては年度末に

多くの表彰をしているケースもあり、その際も盛り上がっている。

【協議員】 スポーツの交流もいいけれども、スポーツ以外に地域での交流はできないか。例えば、保育
専門コースの生徒に時期毎のイベントを学校で実施し運営してもらうなどでもいい。

【学校】 今後可能性を検討していきたい。

【質問】 PTA の加入率はどのくらいか。

→100%

審議のうえ承認

(6) 授業見学について

【協議員】

- ・中学校の卒業生が頑張っていると感じた。先生が生徒を引き込むように授業を行っている。また、保育コースの取り組む姿勢がよい。
- ・生徒たちの時代に合う歌などを取り入れた工夫された授業が行われていた（現国）。話し声もあるが、その会話の内容が授業内容と関係しているもので、生徒が授業を聞いていると感じた。
- ・授業の目標、ねらいを板書で示しているのがよい。
- ・目標を個々の生徒に応じて設定できるとよい。目標を持っている授業に取り組んでいる生徒とそうでない生徒の差が感じられた。先生方の授業は工夫されていた。

【質問】 公開週間の中には面接マナーの授業とあるが、どのようなことを行っているか。

→今週実施したのは、面接時にどのように面接者を誘導するのかという社員の視点での授業であった。他にも、来客が来た場合の席次マナーなどに、働いてから知っておかなければならない基本について学ぶ内容であった。

(7)その他 特になし